

福祉・安全部会 中間報告

1. 開催概要

(1)第 1 回

日 時：平成 23 年 6 月 13 日（月）16 時 00 分～17 時 30 分

場 所：野洲市役所 庁議室

(2)第 2 回

日 時：平成 23 年 6 月 28 日（火）15 時 00 分～16 時 45 分

場 所：野洲市 市庁舎 2 階 第 4 会議室

2. 審議概要

審議事項	主な意見・修正指摘等
全体	・社会の無縁化や高齢者の孤立の問題について指摘があり議論があった。 ・カタカナ語はできるだけ減らそうという意見があり、ケアマネージャーやヘルパーなど、一般化したもの以外はできるだけ使わないことで一致した。
基本目標 2 人とひとが支え合う安心なまち	
施策 1 健康づくりの推進	・食育における地産地消については産業分野でも取り上げられることを確認した。 ・子どもの体力向上については、学校教育で中心的に触れられることを確認した。
施策 2 高齢者福祉の充実	・本人だけでなく、家族・医療機関・介護施設などで医療等の状況が一目でわかる「在宅医療手帳」の重要性について提案があり、施策に追加することとした。 ・高齢者に対する虐待問題の重要性について意見があり、想定される主な取り組みに追加することとした。 ・認知症への正しい理解の普及啓発について、補足意見があった。
施策 3 障がい者福祉の充実	・「障害のある人」と「ない人」をことさら区別しない、という観点から、施策の目標は「すべての人が」から始まる表現とした。 ・高齢化の問題については、障がい者の家族だけでなく、独居の障がい者自身の高齢化についても配慮した表現にすることとした。

審議事項	主な意見・修正指摘等
施策 4 地域福祉基盤の充実	・ 施策のタイトルを「地域福祉の推進」から「地域福祉基盤の充実」という表現にし、地域内の信頼や連携という切り口を盛り込んでいくこととした。
施策 5 低所得者福祉の推進	・ 「納付率の向上」という表現については、「低所得者からの強制徴収」といった誤解が生じる恐れがあるため、別の表現に変えてはどうかという意見があった。
施策 6 防火・防災対策の強化	・ 原子力発電の対応として、「原発や放射能に関する知識の普及や意識啓発」という文言を入れたほうがよいという意見があった。
施策 7 市民生活の安全性の確保	・ 認知症等の人が消費者被害に遭わないよう、成年後見人制度に関して記載してはどうかとの意見があった。

以上